

東通村原子力発電所安全対策委員会開催 ～ 安全協定の運用・原子力防災の取組の状況などを報告 ～



越善村長挨拶

3月11日、東通村防災センターにおいて、東通村原子力発電所安全対策委員会が開催されました。

この委員会は、村内の関係機関の長等により構成されており、原子力発電所の状況の報告や確認などを行うとともに、ご意見などと同じ、村として、様々な対応をしていくため設置しているものです。



委員からご質問・ご意見

委員から、避難時の輸送手段、防災行政用無線、携帯電話、ワンセグなどの住民への情報伝達手段などについて、ご質問やご意見などがあり、村から、「これらの事項は非常に重要な部分であり、関係機関と連携しながら検討や対応をしていきます。」などの回答がありました。

また、東北電力㈱から、安全性向上に向けた基本思想、新規制基準適合性審査申請、敷地内破砕帯の対応状況、原子力防災への取組などについて、東京電力㈱から、周辺整備作業などについて、それぞれ説明がありました。



会議の風景

委員から、避難時の輸送手段、防災行政用無線、携帯電話、ワンセグなどの住民への情報伝達手段などについて、ご質問やご意見などがあり、事業者より、それぞれの対応状況等について回答がありました。

東日本大震災、福島第一原子力発電所事故から4年を経過していますが、東通原子力発電所東北電力1号機は建設計画が中断しています。

一方、国・県・事業者において、福島第一原発の事故を踏まえ、様々な検討や対策が進められています。

村としても、これらの状況を踏まえ、今後も、村民の安全と安心のため、全力で取り組んでまいります。

尻労漁村センター駐車場を舗装しました！

尻労漁村センターの駐車場を、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用して舗装いたしました。

事業主体は尻労漁協、事業期間は平成26年9月5日から12月3日までで、既に完成し、供用を開始しております。舗装面積は2,245㎡で区画線内に普通乗用車52台が駐車できます。様々な集会機会での利便性が向上するものと期待されます。

事業費は17,861,040円、そのうち交付金を14,795,000円活用いたしました。

※ 特定防衛施設調整交付金は、防衛省技術研究本部下北試験場の所在によって国から交付されるものであり、周辺漁協に対する漁業振興対策に役立てています。

